

話題の地域エコノミスト・藻谷浩介氏と語る“高知の未来”

(ベストセラー『デフレの正体』『里山資本主義 日本経済は「安心の原理」で動く』著者)

高知×里山資本主義×学生

～高知を元気にするには～

6月11日(水) 14:00～16:30

高知大学朝倉キャンパス共通教育棟3号館1階311教室

【内容とスケジュール】

14:00～ 藻谷浩介氏ミニ講演

14:30～15:20 学生アイデアコンペ

「あなた×高知でできること」

15:20～16:30 藻谷氏と本気のカタリバ



一般聴講者募集

- ◆募集人数:20人先着順(定員になり次第締め切ります)
- ◆応募方法:高知大学・新学部設置準備室(hj51@kochi-u.ac.jp)へE-mailにてお申し込みください。件名を「藻谷浩介氏講演会聴講希望」とし、本文に①お名前②所属③ご住所④電話番号を記入し、上記・新学部設置準備室アドレスまで送信してください。
- ◆締切:6月2日(月)17:00
- ◆参加費無料
- ◆お問い合わせは、高知大学・新学部設置準備室(hj51@kochi-u.ac.jp)まで。

藻谷浩介氏プロフィール

日本政策投資銀行参事役を経て現在、日本総合研究所主席研究員。コロンビア大学でMBA取得。長年、地域の現場に足を運び、自分の目で見たこととデータをもとに、全国で地域再生の提言を続けている。日本の全市町村をくまなく回り、年間300回もの講演活動を行う。著書に『デフレの正体』(角川書店)『里山資本主義—日本経済は「安心の原理」で動く』(角川書店)『実測！ニッポンの地域力』(日本経済新聞出版社)など多数。



<写真出典: NHKエコチャンネル 里山のチカラ～21世紀の人と自然とライフスタイル～
<http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html> (2014年5月16日)>

●里山資本主義とは？

里山には、代々の先祖が営々と育ててきた、自然と共に生きるシステムがあります。

そのルールを守っていると、いまの時代でも、水と食料と燃料、それに幾ばくかの現金収入がちゃんと手に入ります。新鮮な野菜に魚、おいしい水、火を囲む楽しい集まり、そして地域の強いきずな。

都会であくせくサラリーマンをやっている人間よりも、里山暮らしの人間の方が、お金はないけど、はるかに豊かな生活を送っているということを、私は各地で実感しています。

つまり里山にはいまでも、人間が生きていくのに必要な、大切な資本があるのです。

これはお金に換算できない、大切な価値です。そうした里山の資源をいかしていくことを、「里山資本主義」という言葉を使って伝えようとしたのが、NHK広島局がつくる「里山資本主義シリーズ」でした。

<出典: NHKエコチャンネル 里山のチカラ～21世紀の人と自然とライフスタイル～ <http://www.nhk.or.jp/eco-channel/jp/satoyama/interview/motani01.html> (2014年5月16日)>